

私たちにできること

私たちの日常生活や社会と密接にかかわりを持っている外来種。一度広がると対策をたてるのは大変なので予防が大切です。普段の生活からこの“外来種被害予防三原則”を心にとめて行動していきましょう。

外来種被害予防三原則

1

悪影響を及ぼすおそれのある外来種を

“入れない”

外来種による問題をおこさないために、一番大切なことです。入れなければ問題は起きません。

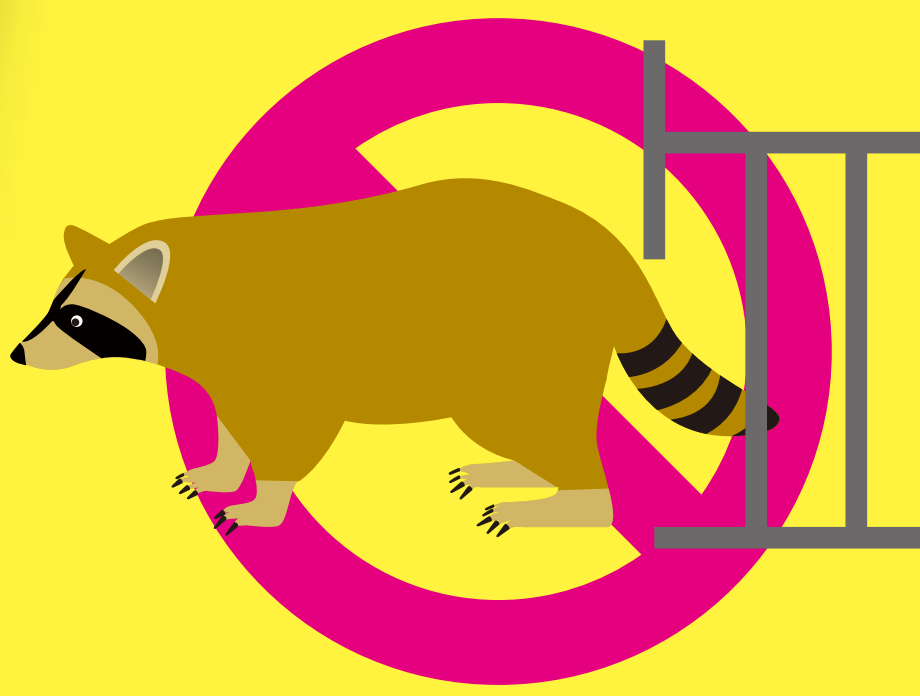


2

飼養している外来種を野外に

“捨てない”

入れた外来種は、適切に管理(捨てない(逃がさない))しなければいけません。ペットとして飼っている生きものは、最後まで飼う責任があります。

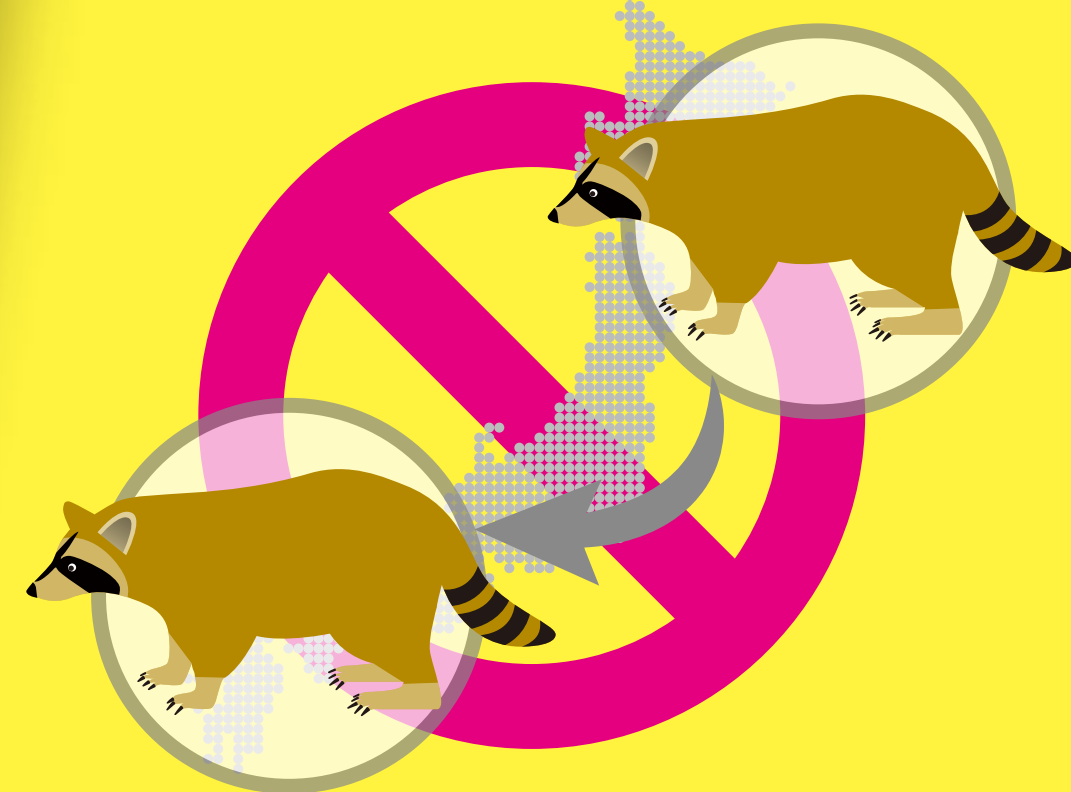


3

すでに野外にいる外来種を他地域に

“拡げない”

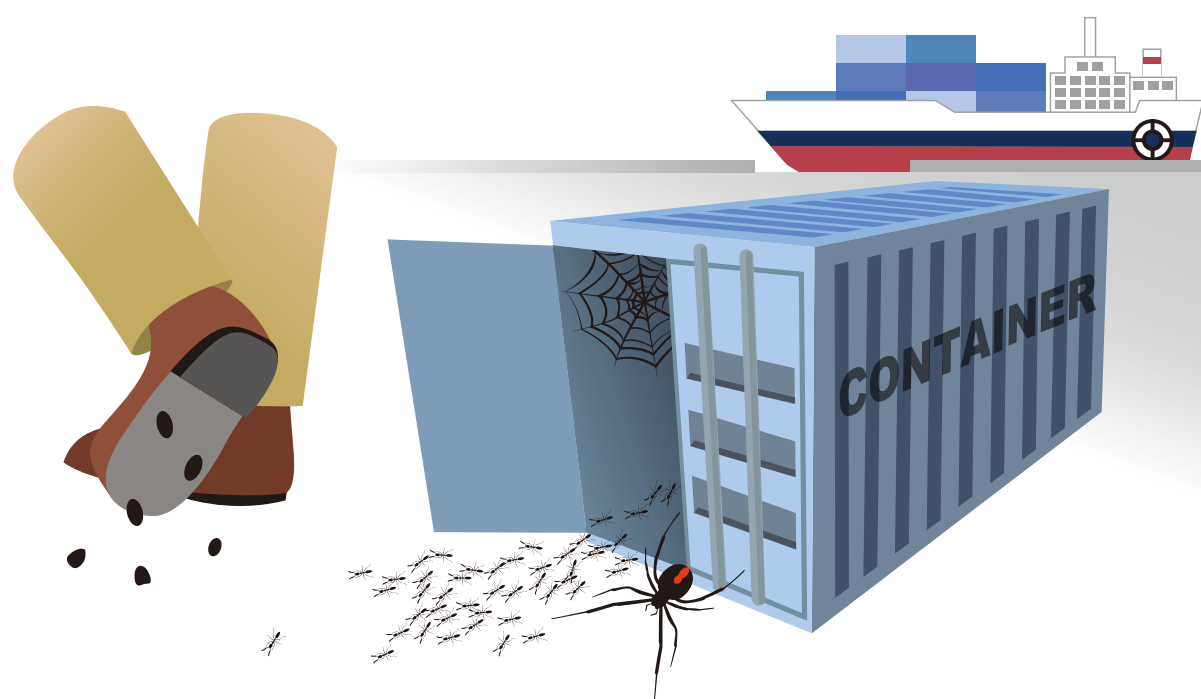
すでに野外に定着してしまっている外来種は、まだ定着していない地域に拡げないことが大切です。これ以上問題を拡げてはいけません。



さっそくはじめましょう！ まずはこんなことから

意図しない外来種の移動に注意！

私たちは普段、色々な場所に移動し、物も盛んに運んでいます。靴の裏についた植物の種や、貨物にまぎれこんだ昆虫などの小動物(アリ、クモ、トカゲなど)を運んでしまわないよう注意しましょう。



外来種の生息・生育情報はこちらへ

外来種を見つけたことはありませんか？ 分布情報は、防除を実施する上で非常に貴重です。写真に撮って登録してください。

外来いきものセンサス
～侵略的外来種全国分布調査～
<http://ikilog.biodic.go.jp/>



外来種対策活動への参加・協力！

全国各地で様々な取り組みが実施されています。ぜひ参加してみてください！



外来種の問題は、私たち人間の活動が原因。
私たち自身の暮らし方の問題点に気づかせてくれます。
後世にこの生態系を引き継ぐために、
“外来種問題に目を向けて”、日々の暮らしを見直してみませんか？



タヨちゃん サトくんとなかまたち
生物多様性キャラクター
©環境省